

閉会 の 挨拶

北陸信越工学教育協会 会長
會 澤 宣 一 氏



本日は北陸信越工学教育協会年次シンポジウムに多くの方々にお集まりいただき、誠に有難うございました。4名の講師の先生方には産学連携による高度人材育成の取組というテーマで貴重なご講演をいただき、心より感謝申し上げます。

まず、基調講演といたしましては、アイシン軽金属株式会社元副社長の村上様に、大変革期に期待される人材と題して、大変革期を迎える自動車産業を題材として、これからの技術者に必要とされる素養をお話しいただきました。これから社会に飛び立っていく学生の皆さんにとっては、大学での学業の先にある、かなり高度なレベルが要求されるお話だったと思いますが、極めて重要な今後目指すべき指針となったと思っております。

次に、事例講演といたしまして、福井大学のフォーミュラーカー作成プロジェクトの活動につきまして、福井大学の新谷先生からビデオを交えて非常に具体的にご紹介いただきました。ご講演の中では、富山大学のフォーミュラープロジェクトにつきましても、かなり気を遣っていただき、ビデオで紹介していただきまして有難うございました。

続いて、金沢工業大学工学部長の高野先生に事例講演いただきました。高野先生には、次世代の人材育成のための教育システムづくりに関して、具体的に紹介いただき、我々教員には大変参考になる内容でした。

最後に、本学工学部の神代先生に、本学で継続しております、次世代スーパーエンジニア養成コースの高度社会人教育の実例を紹介いただきました。県内企業や複数大学、複数学部の先生方が講師となつて、若手から中堅の企業技術者の方が、土曜日に熱心に受講しているということですが、講義内容につきましても受講料をとることもあつて、毎年ブラッシュアップしていると聞いております。大学院生の受講は無料で、しかも大学院の卒業単位にもなりますので、ぜひ受講してみられてはと思います。

村上様の基調講演の中にもありましたが、これからの技術者には、原理原則となる基礎及び専門知識はもとより、市場を含めた世界情勢の動向を読む力、さらには、絶えずPDCAを回す努力が必要となってくると思います。ここに多くの学生さんが参加しておりますが、これからの技術者の目指すところは極めて高度なレベルだと思います。大学教育の中で、このレベルに達することは至難の業だと思いますが、このレベルを目指す必要性だけは自覚しなければならないと思います。そのためには、次世代スーパーエンジニア養成コースで現役の企業技術者や経営者に講義いただいているように、企業技術者や経営者の生の体験にもとづく考え方や次代を読む力を教授してもらする必要があります。本学部におきましても、昨年度から、中核人材育成学として、県内企業講師による人づくり教育を取り入れました。このように企業と連携してこれからの社会が必要とする技術者の育成ができれば、企業にとっても社会にとっても有益となる、産学連携人材育成の正のスパイラルが回っていくと思います。

最後になりましたが、このようなシンポジウムをお世話していただきました、北工教企画担当の小熊先生をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。時代に即した新しい技術者が社会に飛び立っていくことを祈念いたしまして、私の閉会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうも有難うございました。